

# 弘大COIが市長に報告 総理大臣賞「励みに」

技術革新に向けた先導的な取り組みを表彰する内閣府主催の第1回「日本オープンイノベーション大賞」で、最高賞の内閣総理大臣賞に輝いた弘前大学COI(センター・オープンイノベーション)の関係者が14日、弘前市役所を訪ね、櫻田宏市長に受賞を報告した。弘前大学COIは、弘大や花王、マルマンコンピュータサービスなど産学官民が連携し

た「多項目健康ビッグデータで『寿命革命』を実現する健康未来イノベーションプロジェクト」を展開。産業活性化や医療費抑制、県民の健康意識醸成に貢献する取り組みとして評価された。

同日は弘前大学の若林孝一副学長、弘大COIの中路重之拠点長、村下公一副拠点長が市役所を訪問。櫻田市長は今回の受賞をたたえ「人口減少、少子高齢化、短命県という課題がある中で(産学官民が)力を結集していく取り組み。これからもそれぞれがいいものを出し合っていきたい」と話した。

中路拠点長は「受賞を誇りに思い、取り組みへの励ましを頂いた。14年前に弘前市などで行った若木健康増進プロジェクトが認められたということでもあり、今後も市と連携



櫻田市長(右から2人目)に内閣総理大臣賞受賞を報告した(左から)中路拠点長、若林副学長、村下副拠点長

し地域おこしをしなが  
ら、短命県返上に向け  
励みたい」と述べた。  
(成田真由美)